令和元年　７　月　１８　日

地域密着型サービス

令和元年度　第２回運営推進会議議事録

運営推進会議の開催状況について

法人名・事業所名	グループホームぬく杜の郷・しおさい		
所在地	虻田郡豊浦町字豊浦町浜町１７番地３		
担当者名・連絡先	施設長　藤井丈彰	TEL ０１４２-８３-７７１１	
従業者	従業者総数　１４　人（内訳：常勤１２人　非常勤２人）（令和元年７月１８日現在）		
うち夜勤の従業者	１日当たり事業所全体の勤務従業者数　　２人		
運営推進会議の開催日	令和元年　７　月　１８　日　（令和元年度　第２回）		
運営推進会議の構成員	所 属（団体等）名	職　名	出　席
入居者	グループホームぬく杜の郷・しおさい	―	○
入居者	グループホームぬく杜の郷・しおさい	―	○
入居者の家族	グループホームぬく杜の郷・しおさい	―	欠席
入居者の家族	グループホームぬく杜の郷・しおさい	―	○
地域住民の代表者	豊浦町浜町自治会	自治会長	欠席
地域民生委員	民生委員協議会	副会長	○
地域協力者	近隣協力者	有識者	○
市町村職員	豊浦町総合保健福祉施設やまびこ	事務長	欠席
市町村職員	豊浦町地域包括支援センター	認知症地域支援推進員	○
地域社協	豊浦町社会福祉協議会	事務局長	○
地域消防	西胆振行政事務組合伊達消防署豊浦支署	庶務・警防主幹	○
地域駐在所	札幌方面伊達警察署豊浦駐在所	警部補	欠席
施設職員	グループホームぬく杜の郷・しおさい	施設長	○
施設職員	グループホームぬく杜の郷・しおさい	介護支援専門員	○
施設職員	グループホームぬく杜の郷・しおさい	計画作成担当	○
議題	◯活動状況の報告・その他報告事項 ◯会議の出席者からの事業所の活動状況の評価 ◯事業所への要望、助言等の意見聴取		
利用状況	利用者総数　１７人（令和元年７月１８日現在）平均介護度２．８　稼働率９７％		
	要支援１：　人	要支援２：１人	要介護１：４人	要介護２：２人
	要介護３：５人	要介護４：１人	要介護５：４人	―
交流・行事等の実施状況 ・利用者の家族との交流内容 ・地域との交流内容 ・その他の事業　など	（直近約２か月又は前回報告以降） ６月　４日　経営会議・せせらぎユニットカンファレンス ６月　５日　施設内研修（食事） ６月　６日　ＯＪＴ研修 ６月　９日　いちご豚肉祭り・法人釣り大会（職員２名参加） ６月 11 日　豊浦地域支え合いまちづくり委員会 ６月 13 日　栄養・食事・歯科モデル事業（胆振総合振興局保健行政室） ６月 15 日　せせらぎユニット会議 ６月 18 日　国保病院訪問診療 ６月 19 日　ひだまりカンファレンス		
交流・行事等の実施状況			

・利用者の家族との交流内容 ・地域との交流内容 ・その他の事業　など	【前項続き】 ６月 21 日　リスクマネジメント研修 ６月 22 日　ふれあい健康づくりスポーツ大会 ６月 24 日　評議員会、PEAP 研修　ひだまりユニット会議・カンファレンス ６月 25 日　研究法研修 ６月 27 日　行動規範打合せ ７月　２日　相互評価調査員研修 ７月　３日～4 日　施設内研修（食中毒予防） ７月　７日　ＲＵＮ伴・浜町クリーン活動 ７月　８日　さくらんぼ狩り・北海道科学大学薬学部１名実習受入（８日～12 日） ７月　９日　経営会議・せせらぎユニット会議 ７月 10 日　せせらぎユニットカンファレンス・施設内研修（身体拘束） ７月 12 日　労務管理研修・さくらんぼ狩り ７月 16 日　施設内研修（リスクマネジメント） ７月 17 日　施設内研修（食事）
事故の状況	０件
ヒヤリハット報告	（6/1～7/18）全６件 ヒヤリハットⅠ　　０件 （内訳：　　） ヒヤリハットⅡ　　６件 （内訳：転倒３件、変色１件、ベッドから転落１件、切り傷１件） 苦情ヒヤリハット　　０件
相談・苦情の状況	（直近約２か月又は前回報告以降） 苦情　無 相談１件　（入居相談１件）
身体拘束の状況	有：無 身体拘束等適正化委員会（直近の開催日６／２７） ５／２９・５／３１　身体拘束・高齢者虐待防止研修実施
感染症等の発生状況	有：無　　７／３・７／４　食中毒研修実施
その他の報告事項	○豊浦地区ケアケア交流講座・サポーター養成講座の案内 ７／２７（土）しおさいにおいて、豊浦地区ケアケア交流講座・サポーター養成講座を開催する旨、計画作成担当者工藤より案内をする。 ○しおさい祭り　９／１（日）開催 ○前回の運営推進会議において、助言をいただいた「避難訓練に地域の方は参加いただけないか」との件について施設長より進捗状況について報告。前回以降、自治会長の了解をいただき火災自動通報の登録連絡先に自治会長の携帯番号を登録。万が一の場合応援をいただけるよう申し合わせをする。また、近隣住民においては法人内施設の職員が近隣に住んでいることもあり、改めて確認し４名の応援要請承諾を受けていることを伝える。
添付資料	○議事次第 ○事業所報告資料（施設長より報告） ○施設広報誌　せせらぎ通信・ひだまり通信 （計画作成担当者工藤・鈴木より報告） ○豊浦地区ケアケア交流講座ポスター（計画作成担当者より報告）

会議出席者より 事業所の活動状況の 評価 事業所への要望・助言等	●Ａ氏 ヒヤリハットの転倒３件は同じ方ですか？骨折までには至っていない？ （施設）同じ方であったため、早急に対策を講じておりひとつは環境改善。本人の動線を確認しふらつきがあるため、廊下、トイレ前に手すりを設置。もうひとつは、履いているのがスリッパであり、すり足の歩行をされるためご家族とも相談し、つま先が上がっている介護シューズに替えて対応させていただいた。それ以降は転倒がないので経過をみていることを報告する。 ●Ｂ氏 ヒヤリハットと事故の線引きについて教えて欲しい。 （施設）ヒヤリハット１・２について説明。１は〇〇しそうになった。２は〇〇した。なお、事故については、社会福祉施設等における事故等発生時の報告事務取扱要領の内容についても加えて説明し、該当となる場合事故として処理・報告をしています。 （Ａ氏）高齢になるとちょっとしたことでも骨折しますよね。 （Ｃ氏）高齢者は骨折すると命取りになることもあるよね。気をつけたいですね。歩行器を使ったからといっても、私、使ってて転んでしまったのも見ています。そういった意味ではほんと見極めが難しいですよね。 （施設）いざ事故が起きてからどう対応するではなく、大きい事故につながる前に、こういったヒヤリハットの時点でいかに予見し予防策をとれるかが大切だと考えています。入居者の状態変化に伴い、いかに予見をして対策を講じるかが必要で難しい部分でもあります。 ●Ａ氏 アロママッサージのボランティアについて、とてもいいですね。 （施設）もともと入居していた家族の方が入ってくれています。とてもありがたいです。 ●Ａ氏 空床で空きがあるんですね、町内で施設入居を希望している人はいないですかね。 （Ｄ氏）なかなかタイミングが合わないことがありますね。該当者がいた場合には施設は満床の場合もあったり、認知症であっても自宅で暮らしたい方もいますので。できる限り在宅で暮らせる方は在宅でというのが考えですので難しいところですね。 ●Ｅ氏 今年度から署長が異動となっています。また、運営推進会議の担当は私が担当することになります。どうぞよろしくお願いします。 ●Ｆ氏 自宅にいた頃より、施設に入ってからの方が元気で明るくなった。本当に感謝しています。 ●Ｇ氏 本人からは「食事は美味しい」と聞いていますし、いつも身綺麗にしてもらって本当に感謝しています。 以上で会議を終了する。